

令和4年度 第1回 手上げ型交付金事業 最終審査結果表

No.	要望額	減額	採択額	事業名	組織名	事業概要	採択
1	1,749千円	70千円	1,679千円	共に集う地域交流プロジェクト	石城ロマンの里応援隊	多数の歴史的建造物、伝統行事、広大な穀倉地帯特有の美しい景観など、地域活性化に活かせる資源が豊富な石城地区。今年度は、これまでのどんど焼きやわらぐろイルミネーション、ウォーキング事業に加え、わらぐろ／わらまんモスの製作や農業体験交流など「体験」の面において新たな試みにチャレンジすることで、住民の更なる地域づくりへの意識向上につなげる。	○
2	2,000千円	977千円	1,023千円	「宇和海高山の石灰産業と町並み景観」保存活用計画策定事業	高山・宮野浦地域づくり協議会	高山地区景観事業において明らかになった価値を次世代に繋ぐために、景観保存活用計画の策定や灰屋いも実演などを通じて、今後の地域づくり活動の指針を定めていく。四国西予ジオパークの見どころである高山地区の石灰産業群の魅力を観光事業や教育、保全活動に活用することで、地域への自信や愛着を呼びおこし、誇りを生み出していく。	○
3	1,644千円	495千円	1,149千円	えひめの竹あかり ～竹を通じて出会う、つながる、残していく～	野村地域自治振興協議会	「みんなの想火えひめの竹あかり」の取組を一過性にせず、持続可能な活動に発展していく。活動のなかで生まれる人と人とのつながりを大切に、環境を身近に考える地域にするために、ワークショップ・アクティビティ・環境教育の形にして関係人口を増やしたり、竹あかり活動の在り方、環境活動を学び、考えたりしていく。	○
4	1,890千円	648千円	1,242千円	温故知新～乙亥大相撲の歴史と伝統を生かしたまちづくり～	野村地域自治振興協議会	野村地域で培われた相撲の歴史や文化を記録として残し、「日本一の相撲のまち」を多くの方に発信することで、地域産業の振興と乙亥大相撲のさらなる発展を目的に行う。今年度は乙亥大相撲の歴史編さん調査を引き続き行い、相撲関連プログラムの構築と推進、相撲イベントの開催を行う。	○
5	2,000千円	0千円	2,000千円	「伝統×子ども」魚成に根付く、新たな地域づくり人づくり事業	魚成地域振興会	昔から魚成地区で受け継がれている相撲文化を、子どもを核として、地域の歴史文化を知る講座や体験活動、子ども相撲教室の開催や自由に野菜が作れるファームの耕作などを行う。また、地域の拠点である公民館を核とした、新たな伝統文化継承の形を住民参加型の事業で創造していき、公民館の更なる機能充実と、住み続ける人、関係人口の増加をも目指していく。	○
6	2,000千円	481千円	1,519千円	渡江一家！～誕生！新家族！～	かりとりもさくの会	これまでの地域づくり活動で、渡江地区ではこれまでに移住者を14名（予定含む）獲得することができた。「100年後も渡江地区が存在すること」を目的に、移住者の持つこれまで培ってきた繋がりを活かした事業を実施する。地域で活動を続けている学生団体ともさらに連携を深め、ワカモノ視点とヨソモノ視点を具体化し、地域住民への幸せへつなげる。	○
7	2,000千円	677千円	1,323千円	かりエンジョイ 2nd	かりとりもさくの会	これまでの狩江地区の地域づくりの歩みと、手上げ型交付金で採択を受けた事業を踏まえて、移住促進やワーケーション、アーティストとの交流、特産品の魅力化、狩江産の販路促進を行う。人口減少や産業衰退、担い手不足などの地域課題に対して、「やりたいこと」を「エンジョイ」することで、新たな価値を生み出していく。	○

令和4年度 第1回 手上げ型交付金事業 最終審査結果表

No.	要望額	減額	採択額	事業名	組織名	事業概要	採択
8	2,000千円	0千円	2,000千円	めざせジオサイト！鍾乳洞と化石の神秘に迫るvol.2	蔵小校区ふるさと振興会	蔵貫白石鍾乳洞のジオサイト認定を目指し、鍾乳洞を起点に地域の施設や自然環境との連携を図ることを目標に取り組む。今年度は鍾乳洞の化石や植物・昆虫などの調査、洞内の安全対策を引き続き行い、蔵貫地域の自然環境を活かした遊歩道づくりやネイチャーゲーム、モニターツアーを企画することで、鍾乳洞の活用を図っていく。	○
9	2,000千円	0千円	2,000千円	みんなで育てるコミュニティスペース「タネマキハウス(仮称)」事業	みかめやってみん会	世代を超えたつながりづくりや好きなこと、得意なこと、好奇心を活かした住民全体の地域づくりの起点を作る。ワークショップを通じて、地域の方と共にコミュニティスペース「タネマキハウス(仮称)」を作り、世代を超えたつながりと学びの場、新たな住民主体の取組などを創出して、社会的インフラとしての機能・仕組みづくりを構築する。	○
10	1,850千円	356千円	1,494千円	大学生と協働の周木活性化事業	周木どり島むらおこし会	大学生という地域外の人と交流することで、周木地区を違った角度で見つめ直し、今後の地区の活性化の糸口を探る。大学生との地域内フィールドワークや「いかだ集会」のブラッシュアップ、地区の小・中・高校生との交流など、地域住民との交流を深めるとともに、地域課題と旧周木小学校の活用等について研究し、一緒に考えていく。	○
11	2,000千円	435千円	1,565千円	『招くネコの手プロジェクト』～SEASON2～	横林自治振興協議会	今年度、映像製作を通じて地域の魅力を再発見し、地域課題の共有と地域の将来を“見つめる”活動のなかで、改めて地域を見つめ、「お互い様の気持ち」で助け合える仲間組織ができつつあり、コミュニティの重要性と必要性を再認識することができた。更なるコミュニティ強化に向け、交流拠点を核とした人、モノ、外との出会いの場の創出、地場産業の振興と食文化の継承などを図っていく。	○
12	2,000千円	1,092千円	908千円	『横のbase』	横林自治振興協議会	地域づくり活動を進める中で、横林地区への来訪者が増加傾向にあり、継続的な関係人口の創出やファンづくり、宿泊機能を持つ新たな活動の場、空間が求められるようになってきた。新たな『場』のデザインや機能を検討し、みんなが関わられる『企て』を創出することで、横林地区の魅力や滞在型バージョンをつくり、『場』の活用を通じて地域資源の活用や人材育成も図っていく。	○
13	644千円	0千円	644千円	3世代の地域交流 昭和ノスタルジックな夜市	下宇和地域づくり協議会	3世代に渡って地域の幅広い方が参加できる魅力ある夜市を開催することで、今まで関心なかった方たちにも関心をもってもらい、地域への参画の導入的イベントとする。従来の地域の盆踊り大会を活かして、浴衣の貸出や盆踊り練習、花火などを取り入れて、3世代が交流する機会を作ることで、地域全体の一体感を生み出す盛大なイベントとしての定着と地域独立運用を目指す。	○
合計	23,777千円	9,481千円	18,546千円				